

～～第8704回～～

四阿山～根子岳

～R1. 6. 9-10～

今年は激しい雷雨と共に梅雨入りが発表された。今日明日長野地方の天気予報も良くないが、5:00 小雨の中 8 名レンタカー1 台で出発する。中部横断道・中央道須玉 IC から R141 へ八千穂高原 IC から再び中部横断道に入り、上信越道小諸 IC から池の平湿原へ向かう。湯の丸高原ビジターセンターに 9:00 到着。館内は高原の四季や動植物の紹介の他、大きなジオラマで周辺のトレッキングコースが案内されていた。此処から 10 分程で池の平湿原駐車場(500 円)に着く。身支度をして 9:45 霧雨の中を出発する。見晴歩道を歩くとカラマツの新緑の中にイワカガミやツバメオモトの花を見る、アズマシヤクナゲは開花間近だ。次第に本降りの雨になってきたので、赤いコマクサの花を見ながらコース途中の鏡池から駐車場に戻る。管理小屋隣の部屋を借りて昼食を取り 11:45 菅平へ向かう。今日は菅平一帯はトレイルランの大会で街中は賑わっていた。13:00 ペンションフルールに到着。談話室で懇親会をしたり周辺を散策して過ごす。今夜の宿泊は私達 8 名だけでゆっくり夕食を頂いていたが、この時間外は風雨が強まって明日の山行が危ぶまれた。翌朝雲の切れ間から青空がのぞき日も差してきたが、予報は昼前から雨となっていた。既に雨具を着用した人もいる。菅平牧場登山口駐車場(1590m)に 7:15 着く。管理小屋は無人で「入山料(200 円)は帰りに徴収」の張り紙が有った。トイレ横のボックスに登山計画書(届)を入れ 7:35 出発する。満開のレンゲツツジを見ながら四阿山登山口に入る。足元はぬかるんでいるが木漏れ日を浴びてシラカバ林は明るい。イワカガミやコザクラの花を見る。大明神沢の丸太橋を渡りレンゲツツジを楽しみながら歩く。途中開けた所から振り返ると菅平の牧場は見渡せるが周辺の山は雲の中。四阿山方面はガスっている。次第に霧雨と風が強くなり私も雨具を着る。9:35「残り 1.7K」の標識が有る岩石のピーク中四阿(2106m)に着き小休憩する。ダケカンバやシラビソの樹林帯を歩き、左側が爆裂火口の崖の所を過ぎると 10:20 根子岳との広い分岐(2264m)に出る。木製階段を上ると 10:40 山頂に着く。上州側の山泉神社の奥宮の先に信州側の今宮白山権現の奥宮が有る。展望も無いので山頂標識(2354m)で写真を撮り引き返す。根子岳分岐の先を少し下りたところで昼食を取る。此処からは急坂で木の根が入り組み、ぬかるんでスリッパし易く神経を使う。目の前が明るくなると鞍部の笹原が広がっていた。印象に残る風景だ。ササの中をジグザグに上り噴火で出来た巨岩の間を抜け爆裂火口崖の縁の尾根を歩く。13:00 広々とした根子岳山頂(2207m)に着く。展望も無く風雨も有るので早々に下山する。此処からの下りも急なガレ場や木の根・粘土質の土で滑り易い。東屋まで下ると牧場が展望できレンゲツツジもたくさん咲いていた。14:30 駐車場に着き身支度をして出発する。帰りも管理小屋は無人だった。信州ふれあいさなだ館の湯に寄り島田に向かった。梅雨の天気では恵まれなかったが朝のひと時牧場の清々しい雰囲気味わいながら歩き、山中では 6 名の登山者に出会っただけの心に残る

静かな山行だった。

参加者：8名（島田7・焼津1）

天気：雨

地図：四阿山

コースタイム：島田 500＝湯ノ丸高原ビジターセンター900-15＝池の平湿原駐車場 930-45…雲上の丘 1015…管理小屋 1100-45＝ペンションフルール(泊) 1300-655＝菅平牧場
登山口駐車場 715-35…中四阿 935…根子岳分岐 1020…四阿山 1040-50…根子岳分岐
1100-30…鞍部の笹原 1205…根子岳 1300…登山口駐車場 1430-50＝ふれあいさなだ館
1535-1610＝島田 2100

記録：島田支部 T.S



四阿山頂への木製階段



根子岳山頂